

知事説明要旨

今回の六月定例県議会に提案いたして
おります議案の説明に先き立ちまして、
最近の水俣病関係の推移とその対策等につ
いて申し上げます。

去る五月二十二日、熊本大学から「十
年後の水俣病に関する疫学的・臨床医学
的ならびに病理学的研究」の御報告をい
ただき、これによりまして水俣病の現状
は、ますますその広がりや深さの度を加
え、新たな局面に立ち至っているものと
存じます。

水俣病問題につきましては、三月二十
日の熊本地方裁判所におけるいわゆる水
俣病判決の確定を契機として県議会にお
かれましては、事の重大性に鑑み、全会
一致でこの問題に全力を傾注する旨の決
議をなされ、公害対策特別委員会にお
かれましては、深く感謝いたして、この
こと、深く感謝いたして、この次第で
ございます。県といたしましては、このよ
うな深刻な状況に立ち至ったことにつ
きましては、謙虚に反省いたしますと
ともに、判決後の事態の推移に際する総合
的な対策の推進のため、「水俣地域総合対
策班」を設置し、関係各課の緊密な連
携のもとに行政の推進を図って参りま
したが、今後、更に積極的な努力を続ける
覚悟を新たにいたしているものでありま

す。

しかしながら、検討し解決しなければ
ならない問題は、複雑かつ困難なもので
ありまして、全国における頭脳を結集し
て研究し解明することを要するもの、国
段階での制度改正を必要とするもの、あ
るいは広域的に調査等を実施しなければ
ならないもの等質量ともに一県を越え
るものがあることを痛感いたし、国に対
しまして水俣病の治療方法の解明など、
九項目にわたる対策の必要性と、国の積
極的な推進方または指導援助方について
要望したところであります。

国におかれましては、水俣病の重大さを認
識され、三木環境庁長官みずから五月
九、十の二日間におわたりて精力的な調査
をされ、これによって国が強力に今後の
施策に取り組むべき姿勢が確認された次
第であります。

このような状況の中であって、冒頭
において触れました熊本大学の研究報告が
なされたわけでありまして、これにた
ざわられた武内教授を初め、諸先生方に
対しまして深甚な敬意と感謝の意を捧げ
る次第でございます。

この研究内容は御承知のとおり、水俣
地区および周辺の水銀汚染状況から、水
俣湾内および湾外の一部（恋路島周辺）

の魚介類は、蓄積水銀量の生物学的半減
期に関する新たな研究成果等を考慮すべ
き毎日二〇〇グラム以上摂取してはなら
ないこと、水俣病の発生状況と分布を調
査するため、非汚染対照地区として選定
した有明地区において定型的水俣病と全
く区別できない患者が認められたこと
およびこれについては、過去における別個
の汚染系を考慮すべきであるとされたこ
と、また、水俣湾内汚泥中の無機水銀が
好気的条件下で紫外線的作用で有機化し
る可能性が実証されたことなど、行政的
見地から重大な事項を含むものであり
まして、当面県が検討し、実施して参り
ました施策につきまして、更に重要な方
途を示しておるものであります。

このような事態をふまえて、県と
いたしましては、県民の健康を確保し、
あわせて県民の不安感の解消を図るた
め、直ちに水俣湾内および湾外の一部の
水域における魚介類について、地元漁業
協同組合の御協力による厳重な監視体制
のもとにその漁獲を禁止するとともに、
今回の報告をもとに同水域を除く有明海
および八代海の水銀汚染は、現在のところ
人体に危険ではない旨を関係各方面に周
知いたしましたほか、早急に対応すべき
施策として

- 一、有明海・八代海の環境総合調査の実施
- 一、有明海の汚染源の究明
- 一、住民の健康調査の実施

水俣病対策

6月補正
予算にみる

保健医療対策2千百2万7千円、環境汚染対策6千6百

20万4千円、生活福祉対策6億9千5百万4千円、計7

億8千2百23万5千円

一、水俣湾のヘドロの早急かつ安全な
処理

- 一、患者の援護対策
- 一、保健指導および検診の充実
- 一、漁業対策

等につき強力な推進を図って参ること
いたしましたのでありますが、最近、有明地
区あるいは大牟田地区において相次ぎ水
俣病類似患者が発見されるといふ事態に
対しましては、さしあたり、県保健所の
医師等を総動員し、地元市町村、漁協、
開業医などの協力を得て宇土半島および
荒尾地区の有明海沿岸漁民を対象とした
県独自の健康調査を早急に実施すること
といたしております。

一方、公害対策特別委員会におかれ
ましては、水銀汚染の全国的広がりにより新
たな段階を迎えるに至っております水俣病
問題について、国における抜本的対策を
要望するため、六月十一日には、県選出
国会議員に特段の協力を要請すると
ともに、政府の関係各省および各党に対
し、県とともに、その実現について強力
な働きかけをいただきましたことにつ
きまして、心から感謝申し上げますこと
でございます。

なお、この陳情の席上において、政府
から水俣病対策に関する国の総合対策本
部を設置する意向が表明され翌十二日の
閣議で水銀汚染等対策推進会議の設置の
決定をみましたことは、水俣病対策につ

いての国の施策の前進であると考えま
す。この際、全国における今後の公害対
策の指針となるべき施策の実施を指向し
つつ、国の積極的施策と相まって、事態
に即応する適切な行政措置を推進して参
る所存でございます。

以上、最近の水俣病関係の推移とその
対策等について申し述べて参りました
が、今次県議会には、水俣病に関する当
面緊急対策としての補正予算案および時
期的に緊急を要する事項に係る補正予算
案を提案いたしております。

その結果、補正予算案の総額は、九億
二千九百二十四千円となり、これを現計
予算と合算いたしますと千七百七十億三
千九百八十九万四千円と相なるわけで
ございます。補正の主な財源は、地方交付
税約一億九千九百万円、国庫支出金二千
五百万円および諸収入約六億七千五百
万円であります。

以下、これらの予算案の概要につ
きまして御説明申し上げます。

環境汚染等の対策

まず、環境汚染対策といたしまして、
水俣湾内の堆積汚泥の早急な処理方法を
決定するための潮位、潮流等の基礎的調
査ならびに底質の詳細な調査を実施する
とともに、汚泥処理事業に対する事業者
負担額を決定するための調査を行なうこ
ととし、あわせて約二千六百六十万円を

計上いたしました。

次に、有明海、八代海の環境汚染の実
態を把握し、住民の不安を解消するた
め、魚介類および泥土中の水銀を初めと
する有害物質による汚染の状態を調査す
る経費およびチソン株式会社といわゆる
八幡プールの廃棄物処理対策のため、現
在堆積している廃棄物の分析調査、性状
調査等を行なう経費を計上いたして参
ります。

また、さきに申し上げました水俣湾内
の魚介類捕獲禁止措置に必要な禁止区域
の標示、魚介類の捕獲、処分等の経費を
計上するとともに、海の環境保全に留意
しながら、漁業振興を積極的に推進する
ため、水産試験場において魚介類の定期
検査および増養殖指導の充実を図ること
といたしましたほか、魚市場での魚介類
の水銀調査を実施することとし、これら
に要する経費あわせて約二千九百六万
円を計上いたしました。

保健医療対策

水俣病に対処し、地域住民の健康を守
るため、まず水俣保健所の強化を図り、
地域住民の水俣病検診の要望に応える態
勢を整えるとともに、認定患者に対する
保健、栄養指導を行なうための所要経費
を計上いたしました。

また、有明海、八代海沿岸地区の住民
健康調査を実施することとし、国および

関係県とその実施方法、実施地域等につ
き打ち合わせておりますが、これらの具
体的事項が定まり次第この調査に着手で
きるようとりあえず、一千万円を計上
いたすとともに、先きの熊本大学の研究の
発表の結果および大牟田川河口周辺にお
ける水俣病類似患者の発生に鑑み、宇土
市ほか三町の宇土半島北側および荒尾市
周辺の住民の健康状態を早急に把握する
ため、実態調査を実施することに伴う所
要の経費を計上いたしました。

生活福祉対策

この度のいわゆる第三水俣病問題に関
連する魚介類の売行不振、魚価低落、あ
るいは観光客の減退対策等といたしまし
て、とりあえず、漁業者に対しましては
、生活の安定と経営資金の円滑な融通
を図るため、沿岸漁業経営安定化資金五
億円の貸付け、漁業近代化資金貸付金の
利子補給、世帯更生資金の増額等を行な
い、また、水俣地区の旅籠業者あるいは
県内鮮魚小売業者等に対しましては、緊
急融資措置といたしまして小規模企業対
策資金の枠を一億五千万円増額すること
といたしました。

また、水俣病障害児の心身の障害に適
応した適正な教育を行なうため必要な調
査を行なうとともに、不就学児に対する
適切な教育の実施を図るため、新たに単
独教員を配置することといたしました。